

常務委員会（10月21日開催）における議論の状況と今後のスケジュール

1 主な議題（令和6年度 第2回常務委員会）

○前回常務委員会等における主な意見と市の考え方について

・意見対応表【参考資料2-1参照】

○都市計画マスタープランについて

・計画書案【参考資料2-2参照】

○立地適正化計画について

・防災指針案【参考資料2-3参照】 ・中間検証案【参考資料2-4 参照】 ・計画書変更案【参考資料2-5参照】

2 主な意見

都市計画マスタープラン（計画書案）

○共創について

・《P.序-1》最後の段落の「共創」の記載について、次期総合計画でも「共創」は重要なキーワードとなっており、総合計画からの流れを文章中に記載してはどうか。【長谷川委員】

○キーワード・用語集について

- ・《P.1-1》「ウェルビーイング」は広い意味をもつ言葉であるが、市民が考えるまちの姿④にしか、キーワードが入っていないのに違和感がある。【諸橋委員】
- ・《P.資-10》「レジリエント」について、「レジリエンス」の方が一般的に使われている。【石原委員】

○地域拠点・生活拠点について

・《P.2-1,2》将来都市構造の「地域拠点」と「生活拠点」の違いと定義について、確認しておきたい。【吉田友彦委員】

○各章・各項目との関連性について

- ・《P.1-5～10》戦略と各章との関係性を「▶印」で示しているが、ページ番号も合わせて記載した方が使いやすいと思う。【澤木会長】
- ・データで見るときには、PDFのハイパーリンクで該当ページにリンクするようにしてはどうか。【松本委員】

○参考資料について

・現行計画の巻末にある「都市計画図」などを参照のために掲載してはどうか。【松本委員】

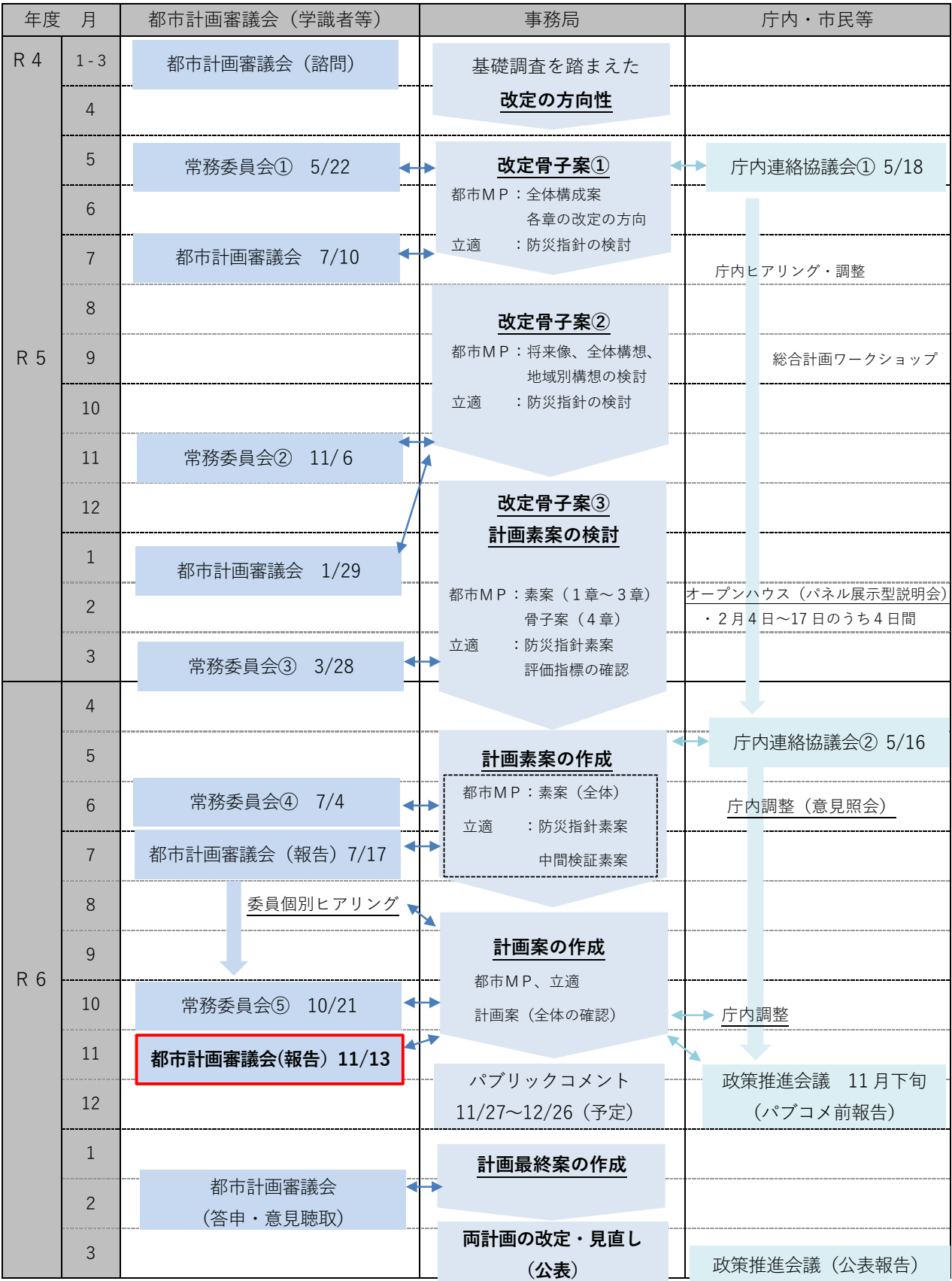
○その他表現等について

- ・現行都市マスと比べて、表紙がシンプルになっており、今後検討するのか。【石原委員】
- ・《P.序-8》位置づけの表内の「踏まえる」と「即する」の使い分けの確認。【長谷川委員】
- ・《P.1-3,4》暮らしのイメージの丸数字は、「イメージ①」などにした方が分かりやすい。段落番号の丸数字の位置づけが各章で異なるように思う。【長谷川委員】
- ・《P.1-6》戦略1-(2)-③の3つ目で、語尾が「～推進しています」と現状を示す表現になっている。1つ目と2つ目に合わせて「～推進していきます」としてはどうか。【長谷川委員】
- ・《P.1-9》戦略3の表で、1の「場づくりのプロセス」という表題が全体のプロセスを表しているように感じる。表現を検討してはどうか。【長谷川委員】
- ・《P.3-1》引用している図表について、文字が大きくバランスが悪く感じる。【藤本委員】
- ・全体的に枠囲みが多く、多用し過ぎると見にくく感じる。【長谷川委員】

立地適正化計画（中間検証案） ※防災指針案・計画書変更案についての意見はなし

- ・誘導施策の検証における、目標値の設定の妥当性は。【石原委員・長谷川委員・澤木会長】
- ・《P.21》取組11の図について、文字が小さいので、重要な部分だけでも文字を大きくしてはどうか。【藤本委員】

3 今後のスケジュール



令和6年度 第2回

茨木市都市計画審議会常務委員会
(都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画中間見直し)

— 会 議 録 —

会 議 録

（敬称略）

会議の名称	令和 6 年度第 2 回茨木市都市計画審議会常務委員会（都市マス・立適）
開催日時	令和 6 年10月21日（月）10時00分開会・11時05分閉会
開催場所	南館 3 階 防災会議室
会 長	澤木 昌典
出席者	〔 委 員 〕 澤木 昌典、吉田 友彦、長谷川 路子、吉田 長裕、 富田 陽子、栗尾 尚孝 <以上学識経験者> 小山 卓爾郎 <以上関係行政機関の職員> 諸橋 理江、藤本 尚久 <以上市民> 石原 凌河、松本 邦彦 <以上専門委員> （以上、計 11名）
欠席者	岡井 有佳、加我 宏之
事務局	足立副市長、福井都市整備部長、新開都市政策課長、杉浦都市政策課長代理
議題（案件）	1 前回常務委員会等における主な意見と市の考え方について 2 都市計画マスタープランについて （1）計画書案 3 立地適正化計画について （1）防災指針案 （2）中間検証案 （3）計画書変更案
傍聴者	1 名

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○杉浦課長代理	ただ今から令和6年度第2回茨木市都市計画審議会常務委員会（都市マス・立適）を開会する。開会にあたり、足立副市長からあいさつを申し上げる。
○足立副市長	（あいさつ）
○杉浦課長代理	本日の出席状況であるが、委員総数13名のところ、出席者は11名となっており、茨木市都市計画審議会常務委員会運営要領第4条第2項の規定により、会議は成立している。 また、岡井委員、加我委員からは欠席の連絡をいただいている。なお、本日は1名の方が傍聴されている。
○杉浦課長代理	それでは、茨木市都市計画審議会条例第7条第1項の規定により、以後、本審議会の運営を澤木会長にお願いする。
○澤木会長	今年度末に改定を予定している「都市計画マスタープラン」と「立地適正化計画」について、令和5年の5月より本常務委員会で議論を重ね、今回が5回目ということで最終回となる。 本日は、両計画の案が概ねまとまってきたとのことなので、その内容を中心に議論したいと考えている。 なお、常務委員会においては、委員相互での議論や質疑も行いながら、活発な議論にしていきたいと考えている。
	案件1 前回常務委員会等における主な意見と市の考え方について 案件2 都市計画マスタープランについて （1）計画書案
○澤木会長	それでは、案件1の前回常務委員会等における主な意見と市の考え方と案件2の都市計画マスタープランについて、事務局より説明をお願いします。
○新開課長	（事務局説明）
○澤木会長	事務局からの説明は以上である。何か意見や質問はあるか。
○長谷川委員	1点目、序-8・9ページの本文中に「(仮称)第6次総合計画」との記載があるが、公表時には「(仮称)」はなくなるのか。 2点目、序-8ページの都市計画マスタープランの位置づけにおいて、

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	各計画に対して「即する」と「踏まえる」という表記を使い分けているが、意図があれば教えていただきたい。 3点目、序-10 ページの魅力1において、4段落目の2行目の「さまざまなため活動」の「ため」は不要であり修正をお願いしたい。
○新開課長	1点目について、現在、第6次総合計画のパブリックコメントを実施しており、改定作業中のため「(仮称)第6次総合計画」と記載しているが、公表時には、「(仮称)」を削除する予定である。 2点目について、「即する」は、各計画との整合性が高く求められるものに使用し、「踏まえる」は、本計画の参考にするといった意味合いで使用している。 3点目については、文言を修正する。
○澤木会長	2点目について、法律で用いられている「即する」と整合性はとれているのか。
○杉浦課長代理	整合性がとれていると認識しているが、改めて確認する。
○澤木会長	第1章の都市づくり戦略において、戦略1・2と第2章の「分野別の都市づくりの方針」との関係が青字で示されているが、方針の番号とページ番号の表記が似ており混同しやすい。また、戦略3・4と第4章の「共創のまちづくりの進め方」との関係も示されているが、第4章のどの部分と関連しているのかがわかりにくい。ページ番号を記載するなど、もう少し使いやすいような工夫をお願いしたい。
○新開課長	ご意見を踏まえて、表現を工夫したい。
○石原委員	1点目、資-10 ページの用語集に記載されている「レジリエント」について、「レジリエンス」の方が一般的に使用されているので、修正をお願いしたい。 2点目、表紙について、現行計画と比べてシンプルなデザインとなっているが、今後検討されるのか。
○新開課長	1点目については、ご意見を踏まえて修正する。 2点目については、事務局内で議論する中でシンプルなデザインの表紙がいいのではないかという意見があり、現時点の表紙となっている。引き続きデザイン面での検討を行いたい。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○吉田友彦委員	2-2 ページの将来都市構造図において、宇野辺駅や豊川駅などの駅周辺が「生活拠点」となっているが、「地域拠点」にはならないのか。 また、山手台地区には商業施設があるので「生活拠点」となっているのはわかるが、大規模小売店舗の立地など具体的な定義はあるのか。
○杉浦課長代理	2-1 ページに「地域拠点」と「生活拠点」の定義を記載している。生活拠点は、基本的に商業施設を含む地域住民の生活を支えている拠点とし、地域拠点は、生活拠点の機能に交通結節点機能が付加されている拠点と定義している。
○吉田友彦委員	大規模小売店の床面積が一定数以上あるなど、明確な基準は設けていないということか。
○杉浦課長代理	明確な基準は設けておらず、基本的には現行計画の内容を継承している。今回改定においては、南目垣・東野々宮地区の「イコクルいばらき」を生活拠点に追加している。
○吉田友彦委員	商業施設はあるが生活拠点の位置づけがないといった問い合わせは、特になく考えていいのか。
○杉浦課長代理	特になく考えている。ただ、商業施設がないところにおいて、周辺の居住の状況によっては商業施設が必要であるといった議論は、今後出てくると考えている。
○吉田友彦委員	承知した。
○松本委員	1 点目、先ほどの澤木会長の意見の中で、戦略と関連している青字の部分にページ番号を記載するといった意見があったが、ホームページにデータを公開するのであれば、ハイパーリンクで該当ページにリンクするようにすれば、さらに使いやすくなるのではないか。 2 点目、現行計画の参考資料には、茨木市の概況として「人口の推移」や用途地域の指定状況などの「都市計画図」が掲載されている。このような基本的な情報があると参照しながら読めるので、より理解が深まるのではないかと思う。
○新開課長	1 点目については、ご意見を踏まえて検討したい。 2 点目について、基本的な情報は本編の中に盛り込む形で整理しているが、参考資料としてまとめて掲載することも含め検討する。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○松本委員	2点目について、用途地域の情報はどこにも掲載されていないと思うので、基本的な情報となるものは掲載した方がいいと思う。
○新開課長	基本的な情報として不足しているものを確認し、掲載していきたい。
○長谷川委員	1点目、今回の計画書案において、「①」などの丸数字が使用されているが、章ごとに意味あいが異なっているように思う。例えば、1-3・4ページの丸数字は、1-2ページの「イメージ①」とつながっていると思うので、丸数字の前に「イメージ」を付けた方がわかりやすいと思う。 2点目、1-6ページの戦略2-(2)-③において、3つ目のみ「推進しています」といった現在形で記載している。戦略であれば、「推進していきます」といった未来形の表現の方がいいのではないか。 3点目、1-9ページの戦略3の表において、1から5の数字は順番を表しているのだと思うが、1の「場づくりのプロセス」という表記が全体のプロセスを表しているように感じる。「場づくりの事前準備」などにしてはどうか。
○新開課長	1点目については、ご意見を踏まえて修正する。 2点目について、③の元茨木川リ・デザインは長期的な取組であり、今後も継続して取り組んでいくといった表現となっている。ご意見を踏まえて、表現を検討したい。 3点目については、場をつくる前から市民と意見交換を行うなど場づくりに向けたさまざまな関わりを「プロセス」と表記したが、ご意見を踏まえて、表現を検討したい。
○澤木会長	1点目については、1-2ページの各イメージの配色をそのまま使用する方が、よりわかりやすくなると思う。 2点目については、「引き続き推進していきます」や「より一層推進していきます」といった表現にしてはどうか。 3点目について、矢印で順番を表すのであれば「場づくりの事前準備」でいいと思うが、「場づくりのプロセス」として全体像を最初に説明するのであれば「矢印」ではなく別の表現にした方がいい。
○新開課長	ご意見を踏まえて修正していきたい。
○藤本委員	3-1ページに挿入されている「第3次総合保健福祉計画における5圏域のエリア」の図表について、3-1・2ページを見開きで見たときに、

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	図と表の大きさなどのバランスが悪いように感じる。
○新開課長	引用元の図表をそのまま掲載しており、ご意見を踏まえて修正する。
○諸橋委員	1-1 ページの市民が考えるまちの姿の「④楽しく散歩ができるまち」のキーワードとして「ウェルビーイング」の記載があるが、「ウェルビーイング」はもっと広い意味の言葉であり、「②挨拶があふれるまち」もウェルビーイングにつながると思う。④のキーワードだけに入っていることに違和感がある。
○新開課長	「歩く」といった健康の視点で、④のキーワードとして整理したが、ご意見を踏まえて検討したい。
○澤木会長	ウェルビーイングには、健康の視点だけでなく、もっと広い意味が含まれていることを踏まえて検討いただきたい。
○新開課長	承知した。
○長谷川委員	1 点目、序-1 ページの最後の段落で、これからの「共創のまちづくり」の考え方や流れが記載されており、第4章においてその具体的な進め方が記載されている。次期総合計画でも「共創」が重要な言葉として取り上げられる予定と聞いているので、総合計画の流れを踏まえて、これからのまちづくりにおいて「共創」が重要なコンセプトであるということが分かる記載を追加してはどうか。 2 点目、4-5 ページの地域づくりの進め方(2)の枠内の3行目で、かぎ括弧の表記に誤りがあるので修正いただきたい。 3 点目、全体を通して、枠で囲まれているデザインが多用されているが、枠に目が行き、個人的には読みにくいと感じる部分がある。
○新開課長	1 点目については、次期総合計画を踏まえて「共創のまちづくり」の考え方を記載しており、これまでの「人力タウン」という協働のまちづくりを行ってきたことを土台としながら、共創のまちづくりに発展していくといった内容で内容を整理している。表現について検討していきたい。 2 点目については、文言を修正する。 3 点目について、第4章においては、事例ということが分かるように枠囲みをしている。ご意見を踏まえ、デザインを含めて検討したい。
○澤木会長	1 点目について、序-8 ページの位置づけで総合計画との関係がはじめ

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	て出てくるが、序-1 ページで先に総合計画の「共創」を踏まえた流れを説明しておく方が、より分かりやすくなるのではないか。 3 点目について、枠囲みを外す場合には、事例を本文として読まないように区別するなど配慮していただきたい。
○澤木会長	その他、何か意見や質問はあるか。 (意見・質問なし)
○澤木会長	意見、質問がないようなので、案件 1・2 については、これで質疑を打ち切る。
	案件 3 立地適正化計画について (1) 防災指針案 (2) 中間検証案 (3) 計画書変更案
○澤木会長	それでは、案件 3 の立地適正化計画について、事務局より説明をお願いします。
○新開課長	(事務局説明)
○澤木会長	事務局からの説明は以上である。何か意見や質問はあるか。
○石原委員	資料 3-2 の中間検証案における誘導施策について、目標値の設定が妥当なのか疑わしい指標がある。例えば、19 ページの取組 8 の参考指標の目標値が実績値よりも低い値となっていたり、22 ページの人身事故の発生件数の目標値が実績に比べてかなり高い数値となっていたりする。目標設定の妥当性や指標の選定などについて、今後検討いただいた方がいいと思う。
○新開課長	取組実績の参考指標については、総合計画における全庁的な取組の中から誘導施策の内容に近いものを選定して掲載しており、誘導施策の内容と目標設定とが少しずれているものも中にはあると思う。ご意見を踏まえ、全体を通して内容を確認する。
○澤木会長	今回は中間検証なので事実を伝えればいいと思うが、今後も同じ指標を使い続けるのか、あるいは新たな指標を設定するのかなど、今後議論が必要と考える。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
○新開課長	ご意見を踏まえて、今後の検討としたい。
○長谷川委員	石原委員の意見に関連して、参考指標の目標値については、新たに設定した数値ではなく、既に設定されている数値という理解でよいか。
○杉浦課長代理	参考指標の目標値は、総合計画の施策評価の値を掲載しており、基本的には5年に1回見直されている。中には、年度ごとに更新しているものや、22 ページの人身事故の発生件数では平成 23 年ごろの数値を基本としているものもあるので、全体を通して内容を確認し、精査していきたい。
○藤本委員	資料 3-2 の 21 ページの取組 11 に掲載されている図について、図と合わせて文字も小さくなっているので、重要な文字は大きく表記しなおすなど工夫していただきたい。
○新開課長	ご意見を踏まえ、全体を通して、見やすさの観点で確認していきたい。
○澤木会長	その他、何か意見や質問はあるか。 (意見・質問なし)
○澤木会長	意見、質問がないようなので、案件 3 については、これで質疑を打ち切る。 全体振り返り
○澤木会長	全体を通して、何か意見や質問はあるか。
○澤木会長	ここまでいただいた意見は、内容そのものというよりは、計画書の見やすさや分かりやすさなどの意見が中心であった。常務委員会は今回で最終回となるので、常務委員会として最後に何か意見や質問があればお願いしたい。 (意見・質問なし)
○澤木会長	意見、質問がないようなので、これで質疑を打ち切る。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題（案 件）・発 言 内 容・決 定 事 項
○澤木会長	それでは、本日の議論はこれで終了する。以後の進行を事務局にお願いする。
○杉浦課長代理	（今後のスケジュールについて事務局説明）
○杉浦課長代理	常務委員会としては、今回が最終回となる。委員の皆様には、活発なご議論をいただき、また、両計画を案としてとりまとめることができたことに、改めて感謝する。 次回の都市計画審議会については、令和6年11月13日の開催を予定している。事務局からは以上である。 （11時05分閉会）